

## 特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン アフリカの角緊急支援募金による活動報告書

募金件数: 1,902件

募金金額: 18,006,564円

募金期間: 2011年7月20日～2012年3月15日

皆さまからいただきましたアフリカの角緊急支援募金により、アフリカ北東部の国々で、過去60年で最悪と言われる干ばつの被害を受けた人々、とくに子どもたちのために支援を行うことができました。感謝とともに、報告させていただきます。

※募金は、ワールド・ビジョン(以下WV)全体で行う支援活動の一部として役立たせていただきました。

以下の報告は、緊急支援全体の活動についてのもとなります。

### 深刻な栄養不良から回復し、元気になったザムザムちゃん(ソマリア)

ライラ・モハメドさん(24歳)は、3カ月前、ソマリアの首都モガディシュから約1,000キロ離れたソマリア北東部プトランドにある避難民キャンプに、夫とともに5人の子どもを連れて避難してきました。避難民キャンプは、干ばつと紛争から逃れてきた数千人の避難民であふれていました。一家がキャンプにたどり着いたとき、栄養改善を担当するWVスタッフ、ウェマ・アデレは、ライラさんの1歳の娘ザムザムちゃんの栄養不良がきわめて深刻な状態にあったことに驚きました。



3カ月後、体重も増え元気になったザムザムちゃん



キャンプに着いたばかりのライラさんとザムザムちゃん

ウェマは、急ぎ、栄養治療食であるブランピーナッツ(ピーナッツを原料に脂肪分、炭水化物やタンパク質やミネラルなどをバランスよくとることが出来る高カロリー食)をライラさんに渡し、ザムザムちゃんに食べさせるように指示し、栄養不良の子どもたちのためのセンターで、治療を受けさせるように薦めました。それから3カ月、ザムザムちゃんは、体重も増加し、見違えるほど元気になりました。まだ栄養食を食べ続ける必要はあるものの、支援によって健康状態が大きく改善されました。

## 状況

「アフリカの角」と呼ばれるアフリカ北東部の国々(ケニア、エチオピア、ソマリア)では、2011年、過去約60年の中で最悪といわれる干ばつが発生し、1,240万人以上の人々が食糧危機に陥りました。

危機は2012年になっても多大な影響を及ぼし、「今、国際社会が支援の手を差し伸べなければ、最悪の事態も避けられない。すでにケニアでは320万人の人々が栄養不良となっている」とWV緊急支援アドバイザー、ニコラス・ワスナは語りました。

子どもたちの危機は食糧不足だけではありません。干ばつの被害を受けた子どもたちのうち50万人が、親などから離れ離れになり、虐待や搾取などの対象とされる危険が懸念されています。親が子どもを家に残して食糧探しに出たり、年かさの子どもが1人で食糧探しに出されたりするためです。WVは、親と離れ離れとなった子どもたち、保護者のいない生活を強いられている子どもたちにも支援を行っています。

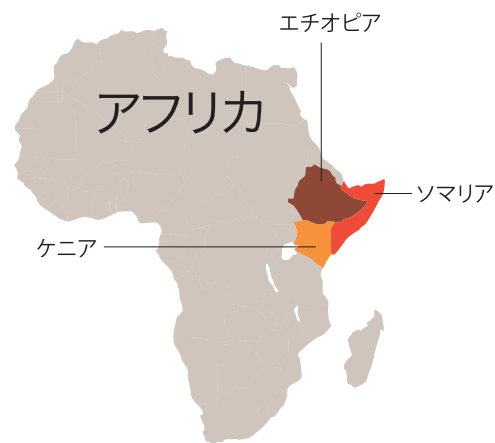
ワールド・ビジョン・ジャパン(以下、WVJ)のアフリカの角支援はWV全体のアフリカの角支援の一環として行われており、ケニア、エチオピア、ソマリア、タンザニアの4カ国で食糧支援、水と衛生分野での支援、教育や子どもの保護、生活向上支援などの活動が行われました。

## 活動

### 食糧支援

ケニアのリフトバレー州東ポコト県に住む、家畜などを失い生きる術を失った人々、干ばつにより食糧を得ることが難しい人々、また、母子家庭、子ども世帯、高齢者、障がい者などの弱い立場に置かれている人々約6万5千人に対する食糧支援を行いました。また、西ポコト県においては、干ばつによる急激な食糧の減少、水源や家畜など限られた資源をめぐる争い、伝統的農業による土地の劣化、急激な食糧価格の高騰などが原因で、食糧を手に入れることが難しい人々、とくに弱い立場に置かれている人々7万3,254人を対象に、食糧支援を実施しました。

ソマリア北西部ソマリランドでは、食糧を得ることができない弱い立場に置かれている家庭、母子家庭などを対象に、フード・フォー・ワーク(労働力の提供に対する報酬として食糧を配布する支援)を行っています。水源の確保などの事業がこの支援で行われ、単に食糧を支給するだけでなく自立を促す支援で、人々の栄養状態が改善されました。



WVから食糧支援を受けた家族(ケニア)



栄養不良の子どもたちや母親を支援するための栄養価の高い食糧を受け取る人々(エチオピア)

## 生活に必要な物資の支援

ケニアに避難している約3万人のソマリア難民に対し、調理用具、蚊帳、防水シート、水管用缶、水浄化剤など生活物資を配布しました。

## 水と衛生分野の支援

干ばつ被害の場合、水の供給はもっとも重要な支援ですが、それに加えて難民キャンプでは、病気の蔓延を防止するためのトイレの設置や衛生教育の実施も重要です。

WVは、ケニアで、給水車を使った安全な水の供給を13万6,862人に行うとともに、井戸の修復や水のパイプラインの建設を行いました。また、地域の衛生教育活動を行うボランティアを募り、トレーニングを実施し、衛生環境改善に努めました。

エチオピアにある難民キャンプにおいても、井戸の修復、トイレの建設、衛生教育の実施などの支援を合計約15万6,200人に対して行いました。

ソマリアにおいてはプトランドで、9万1,139人に対して給水や、母子保健所や小学校への水タンクの設置、トイレの設置や、石鹸の配布などを行うとともに、ソマリランドでも井戸の清掃や修復を実施し、1万2,022人が支援を受けました。



支援により作られた井戸で安全な水を飲む子どもたち(ケニア)



支援で設置された水タンクを喜ぶ子ども。これまで、水を手に入れるために学校を休まざるを得ませんでした(ケニア)



水の支援を受けた女性たち(ソマリア)



食糧を受け取った女性たち(エチオピア)

## 生活向上支援

干ばつにより、農業や畜産がたいへんな被害を受けました。WVは、被災者が自力で生活できるようにするため、干ばつの影響下にあっても食糧確保ができるような自立支援を行いました。

ケニアにおいては、雨期の到来に備え、作物の種子を1,400戸の家庭に配布し、またかんがい設備を修復して、恒常的な食糧確保を目指しました。その結果、合計約2,600家族が支援を受けました。そのうちの51%は女性が世帯主となっている家庭です。

エチオピアでは、種子の配布を19万3,362人に対して行いました。また干ばつの影響を多く受けている遊牧民3,087人に対し、ヤギ、ヒツジや牛を支給するとともに、獣医のサポートの提供や家畜飼料の支援などを行いました。

ソマリアでは、250人の女性に生活設計を促すため、支出計算や、仕事の計画の仕方などの技術を身に付けることを目指した研修を行いました。

## 教育・子どもの保護権利

大規模な災害などにより混乱が生じる時、子どもたちは、人身取引や虐待などの犠牲となる危険が格段に高まります。子どもたちの権利と安全を守るために、ケニアでは子どもの保護に関する研修を行い、856名の子ども保護ボランティアのトレーニングを行いました。保護ボランティアは、子どもたちに危険を避けるための知識を伝えたり、子どもへの暴力に関

する情報を集め関係者に共有する役目があります。

エチオピアでは避難民が暮らす地域で、小学校の建設、子どもたちが安全な生活をするための教材の配布、不足している先生の補充と研修を行い、さらに、子どもたちが安全に遊んだり、勉強したりすることができる場所となる子ども教育センターも建設しました。

## 平和構築

干ばつで食糧や水が手に入らなくなると、人々は他の土地へ避難します。すると避難先では、元々そこに住んでいた住民との間に問題が発生する危険性が高まります。そのため平和を大切にする意識が重要になります。

北ケニアでは干ばつにより牧草地の奪い合いが遊牧民間の紛争につながり、そのため家畜の紛失、戦闘からの避難、市場の混乱が発生しました。今後も、より頻繁に干ばつが発生することが予想されているため、ますます平和的な問題解決が重要になります。そこでWVは、人々に対して、対立する住民間の共通部分や、同じ関心や利益を大切にし、共同作業を行うなど、平和的な問題解決の方法に関するトレーニングを行いました。

また、エチオピアでは難民キャンプ近郊の木の伐採(調理用の燃料に使われる)が難民と地域の住民の争いの原因になっているため、伐採を最小限にとどめるために燃料効率の良い調理ストーブの配布を行いました。

### 担当スタッフのコメント:三浦スタッフ

アフリカの角地域は頻繁に干ばつや飢餓の状態にあるイメージがあり、今回のように過去にないほど深刻な干ばつになっても、残念なことに、世間の注目を集めることもあまりありません。しかし、現実には慢性的な災害に苦しめられる場所ほど、地域の災害対応力が失われています。さらに紛争が続き国内情勢が良くないソマリアからの避難民の扱いは、周辺国も難しく、配慮も必要となります。そのような状況の中で、WVJは他のWV事務所と連携して必要な支援を行ってきました。



### ●募金についての問い合わせ先

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン  
〒169-0073 東京都新宿区百人町1-17-8-3F  
電話03-3367-7621 受付時間9:30~19:00(平日 月~金)  
FAX03-3367-7652 Email: dservice@worldvision.or.jp

※事務所移転のため、7月2日(月)以降のお問い合わせは以下にお願いします  
〒164-0012東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー3F  
Tel:03-5334-5351 受付時間9:30~19:00(平日 月~金)  
Fax:03-5334-5359 Email: dservice@worldvision.or.jp

<http://www.worldvision.jp>

ワールド・ビジョンは、キリスト教精神に基づいて開発支援、緊急人道支援、アドボカシー(政府や市民への働きかけ)を行う国際NGOです